

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
漢字のトレーニング	演習	1	丹羽 正之
【授業のテーマ及び到達目標】 漢字を通して日本語と日本文化の真髄を学び、漢字を用いて美しく明確な表記をしよう。 目標：漢字の基礎知識を習得し、日本語表現を豊かにする。美しい文字を書く。各自がより自分を高める目標を設定して、知識を獲得すること。			
【授業の概要】 1、漢字学習を効果的に行うための基礎知識を学ぶ。 2、各自が希望する級の日本漢字能力検定・過去問題集をもとにした練習をする。 3、漢字カードを使って漢字部品の組み合わせ、三字熟語、四字熟語などを学ぶ。 4、ビデオ教材を使って美しい文字を書く練習をする。筆ペンの練習もする。			
【全体の授業計画・内容】 1. 漢字の学習ガイダンス、自分の漢字能力を知る 2. 基礎知識（1）意符と音符、音と訓、二字熟語の構成 3. 美文字レッスン（1）美文字の基本、手書き練習 4. 基礎知識（2）常用漢字、人名漢字、旧漢字、送り仮名の規則 5. 基礎知識（3）部首と意符、音のない部品 6. 漢字さがし（1）字形の特徴を知る 7. 応用編（1）複雑な字形の覚え方 8. 応用編（2）同音・同訓異字 9. 美文字レッスン（2）手書き練習、筆ペンの使い方 10. 応用編（3）対義語・類義語 11. 応用編（4）四字熟語の世界 12. 漢字さがし（2）部品の組み合わせ 13. 応用編（5）旧漢字と現代漢字 14. 応用編（6）暦・方位などの漢字文化 15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】 予習のあり方：授業で進める課題の予習として、各自で問題集に取り組むこと。 学習のあり方：漢字を手書きすること。辞典を参照すること。 復習のあり方：間違えた漢字をノートに書き出すなどして、不得手をなくすこと。			
【成績評価】 試験 40% 小テスト 40% 受講態度 20%			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 小テストは試験前に返却し、不得手の克服に役立てる。			
【テキスト】 日本漢字能力検定協会『漢検 過去問題集 平成30年度版』 3級または準2級または2級を各自で選択し、1冊のみ使用する。			
【参考文献】 漢和辞典			